



鳥取県看護協会だより

こすもす

第180号

2022年8月発行

会員数 4,282名

保健師 106名

助産師 212名

看護師 3,917名

准看護師 47名

(令和4年8月3日現在)

公益社団法人 鳥取県看護協会

〒680-0901 鳥取市江津318-1 TEL 0857-29-8100 FAX 0857-29-8102

E-mail: kango@tottori-kangokyokai.or.jp 【発行責任者】松本美智子

鳥取県看護協会

検索

<http://www.tottori-kangokyokai.or.jp/>



ホームページ新着に
「こすもす180号」を
9月末掲載します！

西部地区

米子しんまち
天満屋
にて開催

令和4年度
テーマ

コロナ後をみすえて飛躍する看護



5.12



Nursing Day

看護フェア2022

～看護の心をみんなの心に～

東部地区

とりぎん
文化会館
にて開催



いのち、暮らしを、まもる人。

中部地区

倉吉未来中心
にて開催



CONTENTS

会長ごあいさつ P 2

令和4年度新体制役員紹介・委員紹介 P 3～5

新型コロナウイルス感染症に関する協会の取り組み/医療的ケア児等支援センター

東部相談窓口開設/認定看護管理者ファーストレベル教育課程受講生の声 ... P 6

2022看護フェア実施報告/友納理緒氏参院選に初当選 ... P 7

地域で活躍する看護職/ナースセンターからのお知らせ ... P 8～9

岩美病院施設紹介/プラチナナース P 10

がんばる！育ナース/推しメン/認定・専門看護師紹介 ... P 11

表彰 P 12

令和4年度鳥取県看護協会役員選挙開票結果/理事会報告 ... P 13

第16回鳥取県看護研究会/絵画の寄贈について/新刊図書/編集後記 ... P 14



会長ごあいさつ

会長 松本 美智子



日頃より会員の皆さまには、本会事業につきましてご理解とご支援・ご協力を賜りまして感謝申し上げます。

3年目を迎えました新型コロナウイルス感染症は、感染力の強いBA.5の猛威により、新規感染者数の最多記録更新の日々が続いております。感染拡大に伴う受診者の増加、家族の感染や医療従事者自身の感染のため出勤できない事例の増加により、通常の医療体制にも影響が出始め、医療の逼迫が懸念される状況が続いております。

また、ウクライナ侵攻や台中関係の悪化により世界情勢は混沌とし、猛暑や記録的な大雨による河川の氾濫や浸水被害の続出など危機管理体制の整備の重要性を痛感するこの頃です。このような状況下で、医療の最前線で尽力してくださっている看護職の皆さまに心より感謝し、敬意を表します。

さて、令和4年度鳥取県看護協会通常総会は、今年度も感染対策として規模を縮小して、6月19日に開催することができました。総会では、名誉会員の推薦（2名）、令和3年度収支決算及び監査報告、令和4年度役員の選出、令和5年度代議員及び予備代議員の選出のすべての提出議案が原案どおり可決されました。また、鳥取県看護協会長表彰を3名の方へ、新型コロナウイルス感染症対策として高齢者施設等への現地指導を実施していただきました認定看護管理者12名、感染管理認定看護師等15名の皆さまに鳥取県看護協会長感謝状を贈呈いたしました。直接の表彰は叶いませんでしたが、永年にわたり本会の運営・事業推進にご貢献いただいたこと、自施設の感染対策で大変な状況の中、鳥取県の新型コロナウイルス感染症対策にご貢献いただきましたことに深く感謝いたします。

そして、令和4年度の鳥取県看護協会は、改選役員・新役員11名を迎え、新体制でスタートを切りました。令和4年度の重点政策は、1. 健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築、2. 看護職の働き方改革の推進、3. 看護職の人材育成と専門性の発揮、4. 地域の健康危機管理体制の整備、5. 公益社団法人としての組織強化と確立の5点です。この重点政策に基づき総会要綱に記載しております重点政策、重点事業に取り組んでまいります。

また、3年計画で取り組んできました地域包括ケアシステム推進フォーラムを7月31日に146名の皆さまにご参加いただき開催することができました。新型コロナウイルス感染症の急拡大により、Web参加がほとんどで、参集しての開催は叶いませんでしたが、日本看護連盟の大島敏子会長に「コロナ禍から考えるこれからの医療・介護の連携」というテーマで特別講演をしていただき、「新型コロナウイルス感染症への対応によって見えてきた医療・介護の連携の課題と今後のあり方」というテーマで4名のシンポジストの皆さまにそれぞれの立場でのご発表後に意見交換を実施し、有意義なフォーラムになりました。推進フォーラムとしては今年度が最終年になりますが、今後どのように展開していくのか皆様のご意見を伺いながら検討してまいります。さらに、今年度ナースセンターにコーディネーターが1名増員になりましたので、昨年度作成いたしました「病院等と連携した高齢者介護施設新人看護師教育プログラム」の活用推進に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない状況ではありますが、「人々のいのち・暮らし・尊厳を守る」看護能団体として、その役割を果たすよう努めてまいりますので、会員の皆さまのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度新体制 役員のご紹介

令和4年度の通常総会において、新役員が選任されました。新役員体制で一丸となって事業を推進いたします。皆様のご協力よろしくお願いします。

副会長 理事



上田 尚子 (新任)

鳥取生協病院

長期間に及ぶコロナ禍中によって、コミュニティの希薄や生活の困窮による健康被害の状況が進んでいます。コロナ禍によって強くなった看護の繋がりを強みに、協会の使命である人間としての尊厳を維持し、その人らしい健康な生活に貢献するという看護協会の使命に向かって重点事業が推進できるよう会長を補佐し、副会長の役割を果たしてまいります。

副会長 理事



有田 恭子

鳥取高草地域包括支援センター

新型コロナウイルスが、更なる猛威を振るい県下に蔓延しているなか、感染対策に苦慮しながら、協会の運営にご協力いただきまして有難うございます。コロナ禍のなか、研修の在り方も確立し、令和4年度はさらに「負けるなコロナ」の気持ちで、協会事業や研修会を会長の補佐役として、新副会長とともに役割を果たしていきます。

専務 理事



植木 芳美 (新任)

鳥取県看護協会

日頃、保健・医療・福祉分野の各々の場で、住民の皆様のいのちと健康・暮らしを守るために、ご尽力いただいている皆さまに心より感謝を申し上げます。

長引くコロナ禍において、子どもから高齢者まですべての世代で、暮らしへの影響や様々な健康課題が顕在化してきています。このような中、看護職員の役割の拡大や専門性発揮への期待は高まる一方です。

会員の皆様のニーズにお応えできるよう、また、会長・副会長を補佐し、本協会の各事業が会員の皆様、地域住民の皆様にとってよりよいものとなるよう精一杯努めて参ります。よろしくお願いいたします。

常任 理事



谷口 玲子

鳥取県看護協会

長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私達が経験したことがない医療の現場となっています。看護職に対する社会的な期待や存在価値が高まっており、質の高い看護の実践者の育成と人材確保が必要となっています。ひとり一人の看護職が自分の看護力を発揮し働き続けることができるよう尽力して行きたいと思いをします。

常任 理事



長谷川 ゆかり (再任)

鳥取県看護協会

終息するかと思われた新型コロナウイルス感染症が、またまた猛威を振るっている中、常任理事に選任いただき、併せて新型コロナ感染症対策室長を拝命いたしました。県民の皆様に安心・安全な保健・医療・福祉が提供できるよう、会員はじめ看護職が安心・安全に働き続けられる環境づくりや資質向上に尽力してまいります。

保健師職能 理事



平戸 由美

鳥取市こども発達支援センター

保健師職能委員長2年目を迎えました。日々新型コロナウイルス感染症対応に奮闘しつつ、保健師同士のみならず、看護職の皆様との連携なくしては、この危機を乗り越えられないこと、そしてすべての関係者の皆様に感謝している毎日です。保健師職能は、今年度も地域包括ケアシステム推進に向け、地域を支える保健師の専門性を発揮しながら、看護職同士の連携を強化した取り組みと、他団体とのネットワークを広げながら、委員全員で事業に取り組み、保健師職能としての役割を果たしていききたいと思います。

助産師職能 理事



大谷 多賀子 (新任)

鳥取大学医学部保健学科

新型コロナウイルス感染症が、社会生活に与える影響は3年目を迎えた現在も続いています。そのような状況下で、不安を抱えている母子がいつでも安心して安全な生活が送れるよう支援することが大切です。助産師一人一人が、地域社会で必要とされる専門職者として更に自己研鑽に努め貢献できるよう助産師職能委員としての役割を遂行して参ります。

看護師職能(病院領域)Ⅰ 理事



森田 理恵 (新任)

鳥取大学医学部附属病院

看護師職能Ⅰの理事として、地域の課題やニーズに応じた看護の提供につながるよう、情報を収集し課題を検討していききたいと思います。また、地域包括ケアシステム推進に向け、各病床機能で求められる看護師の役割発揮にむけた課題発見・意見集約や、看護師の就業継続に関する情報収集・課題発見・意見集約など、働き続けられる職場づくりも目指し、各職能とも協力しながら、取り組んでいきたいと思います。

看護師職能(介護・福祉関係施設・在宅等領域)Ⅱ 理事



高須 美香 (再任)

社会福祉法人こうほうえん 法人本部

本領域の看護職は、働く場も、キャリアも、現場で求められる役割も多種多様です。多様性を認め、緩やかな結束の中で看護専門職としての役割を発揮できるよう、協会役員や関係機関の皆様と連絡・連携をはかりながら事業の計画・実施を行います。また、理事会において、時代のニーズに合った協会運営の一助となるよう業務執行の決定等の職責を果たします。



東部地区 理事

横山 加奈子 (再任)

鳥取市医療看護専門学校

今年度もコロナ禍による影響が続きます。看護師に対して関心や期待が高まっています。看護協会の役割は大きくなっていきます。看護の力を発揮し、地域住民から信頼される存在でいられるよう会員の皆様と取り組んでいきます。また、看護の素晴らしさをアピールできるよう今後の医療を担う人材確保について取り組んでいきたいと思います。

看護研究学会委員では、委員会活動や看護研究学会の運営に携わり看護研究の推進に取り組みたいと思います。



東部地区 理事

田中 幸世

鳥取県立中央病院

日本看護協会、鳥取県看護協会の重点事業方針に基づき、理事としての役割を果たしていきたいと思います。また、新型コロナウイルス感染症が終息しない中、「新しい生活様式」が広がる社会に看護職が国民の「新しい生活様式」を支えるために看護職が専門性を発揮する必要があります。看護を身近に感じられる存在となるよう担当の東部地区活動、まちの保健室では、看護職、地域住民それぞれのニーズに応じた活動を行っていきます。



中部地区 理事

山岡 八重子 (新任)

垣田病院

担当地区の理事として地域の看護に関する課題の把握につとめ、地域住民の看護に対する理解を深める活動を担当委員の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思います。

医療安全では学ばせていただきながら看護の立場から安全・安心な看護提供体制が確保できるよう、鳥取県下の医療安全ネットワークの構築に尽力していきます。

現場では懸命に感染の不安を抱きつつも看護を行う看護職の状況が続いています。皆さんと知恵を出し合い、任された役割を果たせるよう努力します。



中部地区 理事

田辺 由香理

三朝温泉病院

新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたかなと思ったのも束の間、7波がやってきました。いつ収束するのかわからない状況下で看護職は使命感をもって地域に貢献しています。看護職の横つながりを強化しながら、地域活動をしていきたいと思います。

また、広報委員会を通して、看護協会への関心が高まるよう会員の皆様に情報を発信していきます。



西部地区 理事

寺地 栄子 (新任)

大山リハビリテーション病院

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている中、看護師の求められる役割も大きくなっていると思います。横のつながりを大切にしながら、地域に向けて看護師の役割の幅広い広報活動や、地域住民及び地域における健康・福祉の増進を図れるよう努めてまいります。また、看護師がその専門性を発揮でき、やりがいを感じながら看護できるよう会員の皆様と共に取り組んでまいります。



西部地区 理事

岡本文枝 (新任)

山陰労災病院

看護フェアや「まちの保健室」との協働を通じて、地域住民の皆さんに看護師の活動を理解いただき、健康・福祉への貢献、看護の発信、将来の看護人材確保につなげていけるよう努めます。また、地域の看護力アップに向けて、看護職間のネットワークがより一層強化できるよう皆さんとともに歩みたいと思います。SDGsの実現に向けて力を合わせて頑張りましょう。



全区 理事

山本 健一

尾崎病院

今年度もコロナ禍による影響が続いている中、私たち医療従事者に求められるニーズは、ますます高まっています。そのような中で、良質な看護を提供することを、准看護師にも求められます。その為、「看護チームにおける看護師・准看護師・看護補助者の業務のあり方に関する看護協会の基本的考え方」の普及と、准看護師から看護師へ進学支援に取り組んでいきたいと思います。



監事

間庭 弘美 (新任)

鳥取市立病院

公益社団法人鳥取県看護協会の運営に対し、理事会に参画し、事業の把握、理事の職務執行の把握、会計監査・監査報告を適切に行い、監事の役割を果たすよう努力致します。



監事

石川 和枝

浜田医療センター

監事役員として2年目となりました。看護協会の運営に関して、監事として、理事会に参画し、業務監査、会計監査及び監査報告の役割を果たせるよう努力していきます。



令和4年度 委員のご紹介

令和4年7月14日・15日の2日間に合同委員会の開催を予定していましたが新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

1年間、皆様のご協力のもと鳥取県看護協会の事業を推進し公益社団法人としての役割を果たす委員会活動となりますようお願いいたします。

●担当理事 ●委員長

◆常任委員会

社会経済福祉委員会

●有田 恭子 ●石坂 千恵 岡本久美子
高野 将幸 西山あゆみ 富田 千佳
平井 豊

今年度も労働環境改善に向けた活動を行います。また、協会会員増員へ向けた活動も継続して取り組んでいきます。

医療安全委員会

●磯山八重子 ●金田 由佳 藤原 裕美
角 ひかる 吉田 一恵 榮 将展

今年度は昨年度に引き続き、身体拘束について知識を深めるとともに自施設での取り組みについて情報共有できるよう交流会を企画しています。皆様のご参加お待ちしております。

教育委員会

●長谷川ゆかり ●足立 好美 萩原 陽子
上野 文靖 石田 恵子 坂田 和美
杉本 奈美 竹本 好子 齋藤 まい
長尾 美香 松本真理子 依藤 裕子

急変対応、コミュニケーション、意思決定支援など新型コロナ感染の状況に応じてZoom、ハイブリッド、集合など方法を駆使して研修を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

認定看護管理者教育課程教育運営委員会

●岡本 文枝 ●小椋美保子 安部 和泉
前田久美子 松本 緑 佐々木晶子
嘉本 賢哉 奥田 玲子 山本 博子
田中 菊枝

今年度はファーストレベル研修と、セカンドのフォローアップ研修を開催します。受講生の皆様に安心して学んでいただけるよう、円滑な研修運営に努めて参ります。

広報委員会

●田辺由香理 ●山本 真美 山本 有加
村中 沙紀 岡本 智子 河本 史子
谷本 玲子 門永 睦

今年度も、機関紙「こすもす」を年4回発行します。看護協会の活動、県内の病院や施設、働く看護職の紹介等タイムリーな話題をわかりやすくお知らせしていきたいと思ひます。

推薦委員会

中林 琴美 白岩 朱美 徳永 忍
河本 美和 首藤 洋子

協会組織全体の強化をめざし、中立・公平な姿勢と立場で選考・推薦を行います。

看護研究学会委員会

●横山加奈子 ●片山 悠子 中川 康江
池田美智代 山根 加絵 角田 紫
清水ひとみ 吉村 純子

看護研究の発表や受講を通じて、研究的態度と論理的思考を養うとともに、今後の看護活動の参考とし、看護の質の向上を図るため学会、研修会を開催します。たくさんの参加をお待ちしています。

災害看護委員会

●山本 健一 ●池嶋 一也 村口 豊育
中瀬 善雄 藤原真由美 松信 美徳
東原 有加

今年度も災害支援ナースの養成研修を開催し、登録推進活動を行います。また、災害発生時の基礎的知識に関する研修を企画していますので、ぜひご参加ください。

選挙管理委員会

山根 美子 聲高 郁子 山本 靖子
森安 真紀 高田 敦子 北浦 智子

定款細則・選挙規定を理解し、公明かつ適正に選挙運営が出来るよう委員みんなで力を合わせて取り組みます。

「まちの保健室」委員会

●田中 幸世 ●大根むつみ 岡田奈津子
近藤 仁子 松本 弘美 影山 佳菜
野島 千恵

まちの保健室では各地域での「まちの保健室」開催運営を行います。ボランティアの皆様のご協力をいただきながら、安心安全な生活のお手伝いができるように活動したいと思ひます。

◆職能委員会

保健師職能委員会

●平戸 由美 山村 裕子 松浦 治代
谷野真由美 永美 知沙 川上美都江
中原 聖子

保健師職能委員会は、新型コロナウイルスに負けず、県内の様々な分野、場所で働く保健師同士のネットワークを強化し、地域包括ケアの推進に向けて、委員全員が一丸となって、共に保健師の専門性を高めていけるような活動を目指します。また、保健師の会員を増やし、他の保健師団体との連携を強化しながら進めていきたいと思ひます。

助産師職能委員会

●大谷多賀子 岡野 正恵 川口 美喜
幸田 尚子 大谷 昭子 小寺 理恵
松浦 英美 遠藤 明美

助産師の使命は「女性の一生を支えること」です。変化する社会的ニーズを敏感に受け止め助産ケアの質向上に寄与してまいります。また、次世代を担う新人助産師の育成に努め、委員一同、活動を進めていきます。

看護師職能委員会Ⅰ

●森田 理恵 田淵 裕子 津村 朱美
大平 美穂 野儀由紀子 宮脇 正美
角 恵美 渡部 修己

今年度は、安全で質の高いケアの提供を目指した心理的安全性の高い組織づくり、医療職の働き方改革を進めていく上での情報共有を中心とし事業を進めてまいります。

看護師職能委員会Ⅱ

●高須 美香 西村 真紀 酒本さおり
森尾みづほ 中田小百合 松崎 容子
曾我 円

看護職の資質向上のため、今までの活動で培ったノウハウやネットワークをさらに広げ、現場の声を事業・研修・政策に反映できるよう、委員会活動を進めていきます。

◆地区活動委員会

東部地区活動委員会

●横山加奈子 ●田中 幸世 ●大河原聡子
白築 陽子 榎 智子 尾崎 聡美
沓野 朋子 篠原恵理子 北村 理恵

コロナ感染症対策を行いながら交流会や看護の日の企画を通し会員の親睦を図り、若年層を中心に看護職への関心が得られるよう工夫をこらした活動ができるよう取り組みます。

中部地区活動委員会

●田辺由香理 ●磯山八重子 ●清水知加子
山根 香里 松村 志保 原田千加美
岡本 歩 由田 美香

コロナ禍の今、看護職同士が連携していく必要性を感じています。地域住民及び地域の健康福祉に貢献することを目標に看護フェア等活動を進めて参ります。

西部地区活動委員会

●岡本 文枝 ●寺地 栄子 ●渡部 明代
岩田 恵 竹中しずえ 足立 佳子
関 千晴 山本 智子 長尾理恵子

新型コロナ感染の対策を取りながら地域住民の健康意識の向上、看護職への関心が深まる活動を中心に企画開催してまいります。よろしくお願ひ致します。



新型コロナウイルス感染症に関する協会の取り組み

新型コロナ感染症対策室長 長谷川 ゆかり

令和4年6月から新型コロナウイルス感染症対策室長に就任しました。よろしくお願いいたします。

第7波の最中にこの原稿を書いています。協会内に設置している「鳥取県受診相談センター」にはひっきりなしに相談の電話がかかってきています。「発熱したがどこで診てもらえるのか」「抗原検査キットで陽性が出たがどうすれば」「PCR検査はどこでうければいいの」「濃厚接触者と言われたが」「何日間自宅待機すればいいか」「保健所に電話が繋がらない」等など、様々な相談の電話がかかってきます。2名の相談員の方が休む間もなく対応してくださっています。本当にありがとうございます。受診相談だけでなく、軽症者の宿泊療養、福祉施設の現地指導等たくさんの看護職の方に支えていただき、協会のコロナ対応ができていることに感謝申し上げます。

令和4年度は、3年度の事業の継続と、新たに3つの事業を行います。引き続き、ご理解ご支援をいただきますようお願いいたします。

R4年度 新型コロナウイルス感染症対応に係る事業

- ①福祉施設等への認定看護師等の派遣調整
- ②受診相談センター・ワクチン相談センター
- ③軽症者の宿泊療養施設看護師確保・調整
- ④在宅療養に係る訪問看護ステーションの調整
- ⑤潜在看護師研修事業（新規）
潜在看護職の育成等支援のための研修会の開催
東部7月29日（金）中部8月31日（水）西部6月24日（金）
- ⑥看護職離職防止相談事業（新規）
看護職員の新型コロナにおける離職防止のための相談窓口の設置 7月1日開設
- ⑦広域人材調整事業（新規）
県内で人材が確保できない場合、他県へ応援派遣を要請する仕組みの体制整備

6月22日

医療的ケア児等支援センター 東部相談窓口を開設

医療的ケアとは、病院以外の場所で痰の吸引や経管栄養など、家族が医療的ケア児に対して行う、日常生活を送る上で、必要とされる医療行為のことです。

令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（通称「医療的ケア児支援法」）が施行となり、鳥取県は2022年6月22日に鳥取県医療的ケア児等支援センターを開設しました。相談窓口を各圏域に設置し、東部圏域の相談窓口は鳥取県看護協会に設置されました。支援対象は、医療的ケア児等や家族だけではなく、関係機関の支援者も含まれます。開所して早1か月。すでに、さまざまな声を聞かせていただいています。身近な場所で相談できるメリットを生かし、障害や医療的ケアの有無にかかわらず、子どもや家族が安心して生活できるよう取り組んでいきます。



令和4年度 認定看護管理者ファーストレベル教育課程受講生の声

開催時期▶5月13日～8月1日(19日間) 受講者数▶54名

医療法人清和会 垣田病院 中村 美加

「患者中心の医療の提供のためには、患者を取り巻く社会的状況を把握することが必要である」このことが、今回のファーストレベル教育課程研修を受講し、一番学んだことでした。そして、講義内容や他の受講者の方との交流により、改めて自身の看護について振り返ることができた、とても貴重な研修となりました。普段の業務の中で感じている悩みを相談し、また、管理者としての今後の方向性などを他の受講者の方から学べたこと。病院の枠を超えてこのような交流ができたことは、今後の看護活動への励みに大いに繋がるものとなりました。改めまして、このコロナ禍で色々と制約がある中、ご配慮頂きました看護協会の皆様、教科目レポート作成の際にもたくさんのアドバイスを頂いた全受講生の皆様に心より感謝いたします。

鳥取県立中央病院 飯田 裕美

私はチームリーダーとして、看護問題の取り組み方やスタッフの能力の活かし方を学びたいと思い、ファーストレベル教育課程を受講しました。研修を通して自分の看護の視野が広がり、思考過程も変わったと実感しています。今まで、「まあいいか」と曖昧にしていた事や「仕方がない」と諦めていた事に対し、客観的に分析してどうしたらよいか考えるようになりました。また、グループワークを通し他施設の方と同じ悩みに共感したり、意見交換できたことは新鮮でよい刺激となりました。今後は研修で学んだことを活かし、質の高いチーム作りと、看護は楽しいと思えるスタッフの育成に取り組んでいきます。私は、ファーストレベル教育課程は自分の目指す看護を実現するために背中を押してくれる研修だと思っています。



開校式の様子

看護フェア2022 開催報告

～看護の心をみんなの心に～ いのち、暮らしを、まもる人。



看護の日

看護の心をみんなの心に

「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに、看護について関心を高め、支えあう心、助け合いの心といった看護の心を社会に呼びかけ、県民に看護の心を広め、また若年層を中心にプロフェッショナルとしての看護職の魅力を発信し看護人材の確保へと繋げていくことを目的に開催いたしました。

※新型コロナウイルス感染拡大によりパネル展示と変更になりました。

東部地区

- 日 時 5月3日(火) 13:30～15:30
- 場 所 とりぎん文化会館 フリースペース
- 参加人数 32名

- 内 容 パネル展示
・看護職になるには？
・手洗いに関するもの
・生活習慣病予防(運動・食事等)



東部地区活動委員より

今年度は、看護に関連したもの及び健康づくりや感染症予防のため手指消毒に関するパネル展示を実施しました。来場された方から「食生活を変えていきたい」「3度の食事に野菜を入れたい」「運動の大切さを教えて頂くことは多いが実践につながらない」等、健康づくりの意識はあるものの生活習慣を変えていく難しさの声を頂き、今後も様々な機会を捉え啓発していく必要性を感じました。

予定していた高校生対象の看護体験がコロナ禍で中止になりましたが、看護職に関連したパネルを通し、看護職志望の高校生や子育てが落ち着いてから看護職を目指したいという一般の方に、看護職の魅力を伝え、看護職に関する冊子等の記念品を渡しました。看護フェアの規模を縮小しても、今できる活動を少しずつでも行っていく事の大切さを感じた今年の看護フェアでした。



中部地区

- 日 時 4月29日(金) 10:00～12:00
- 場 所 倉吉未来中心 アトリウム
- 参加人数 14名

- 内 容 パネル展示
・看護職になるには？・乳がん
・禁煙・手洗い・防護服の脱着



中部地区活動委員より

当日は新型コロナ警報が発令中だったため、デモ機体験を中止し、規模を縮小してがんについてのパネル展示をメインに、参加者にアンケートを記入してもらいながら、日頃気をつけておられること等を伺いました。アンケート結果からは「パネル展示は健康作り、健康維持に役立った。」「検診を受けようと思います。」等前向きな感想をいただきました。大雨ということもあり、参加人数も14名と少なかったものの、高校からの勧めで看護師を含めた医療従事者志望の高校生が5名も参加してくださいました。来年度は開催日を検討し、進路相談等への対応や、看護師以外の医療従事者とのコラボなど、より参加してみたいフェアにしていきたいと思います。

西部地区

- 日 時 5月7日(土)～5月15日(日)
- 場 所 米子しんまち天満屋

- 内 容 パネル展示
・看護職になるには？
・防護服
・生活習慣病に関して
・手洗いに関するもの
・看護師の活動内容写真

西部地区活動委員より

近年新型コロナウイルス感染拡大に伴い、看護フェアも掲示式が主流となり、年々縮小している傾向からも「今年こそは対面式で」という気持ちではありましたが感染状況踏まえ、対面式に関しては中断を決断した次第です。

来客者の中には実際に看護フェアを楽しみにしていたというご意見もいただいたようで、委員メンバー含め残念な気持ちでした。しかし掲示して間もなく、親子・老夫婦など幅広い年齢層の方々が足を止め立ち寄っていただき、掲示物を見ながらお話をされている姿が目につきました。会話の中で一つの話題として取り入れてもらえ、さらに配布物に関しても早い段階から手に取っていただき健康への意識・関心が高いことを改めて感じました。

次年度はさらに住民の方への多様の情報提供が行えるよう、委員メンバーが一丸となって取り組んでまいりたいと思います。



2022
参院選

友納理緒氏が初当選 ***

「看護の明日をつくる。」処遇改善など政策実現を目指す

7月10日に投開票が行われた第26回参議院議員選挙で、日本看護協会の前参与で、日本看護連盟の組織代表として立候補した友納理緒氏が初当選を果たされました。今後、看護職の国会議員として、看護現場の声を政治の場に届けて看護政策の実現に取り組まれます。当選を受け「全ての皆さまに心から感謝して、国政に押し上げていただいた以上は、自身の役割をしっかりと果たしたい」と語られています。具体的には、日本看護協会と都道府県看護協会と協働し、看護職の人員配置や働き方・処遇改善等に取り組まれます。



町会議員になって ～看護職への期待～

●北栄町会議員 蓼原 美百合

こんにちは。まずもって、すべての看護職の皆様の日々のご勤務に心から敬意を表したいと思います。
通常でも大変なご勤務だと思いますが、更にコロナウイルス感染症で業務が煩雑化し、多忙さを増している状況での業務、本当にお疲れ様でございます。

私は病院、施設、学校に勤務させていただきました。たくさんの方々に支えていただきましたことに紙面をお借りして、お礼と感謝をしたいと思います。「ありがとうございました」

さて、現在私は地域の皆様のご支援をいただき昨年10月より北栄町議会議員として、活動させていただいております。

北栄町では地域医療を担っていただいていた内科医師が最近亡くなられ、身近にいて頼りになる医師「かかりつけ医」が無くなってしまい、地域住民の健康を支える地域医療が課題となっています。

貴協会では高齢化により、看護の対象者の状態像が複雑化する中、安全で質の高い看護を提供し続けるためにそれぞれが役割と責任を果たすため看護チームとして取り組まれています。

地域医療で重要な役割を担っていただいているのは看護職の皆様だと思います。

看護職の皆様は様々なことを理解し、治療（cure）の側面とケア（care）の側面を一体にさせて、ちょっとした異変に気づき、患者さんやご家族をサポートしていただいています。地域の皆様が安心して暮らせますように今後もご活躍をお祈り申し上げます。



●琴浦町会議員 谷田 順子

令和4年1月の町議会議員選挙において、議員としての活動の機会をいただきました。
政治家として活動したいというより、町民の声が反映される町にするためには、議会の場にいなければ声も出せないと感じたことがきっかけでした。

この思いは、定年退職後生活相談員として1年半勤務した中での経験が、大きな後押しになっていると感じています。

昭和53年から平成29年まで、琴浦町（合併前東伯町）の保健師として町民の皆さまに接し、様々な経験をさせていただきましたが、地域をつなぐ取り組みが不十分だったと感じています。

少子高齢社会が進行し、20年後には、85歳以上の高齢者1人を、若年世代のみならず65歳以上の高齢者1.5人で支援する必要が出てきています。

一個人の努力（自助）だけでは限界があり、地域での支え合い（共助）が不可欠となる社会はもう目前です。

患者会や家族会・健康づくりの会など、看護職が手がける組織には様々なものがあります。一つ一つの組織を大切に、また一生活者として地域活動に参加し、看護職の皆さまご自身が是非とも地域とつながっていただきたいと思います。



広報常任委員会の様子



6月議会一般質問の様子

～ナースセンターからのお知らせ～

～新型コロナウイルス感染症対応看護職員の人材確保事業～

鳥取県看護協会（鳥取県ナースセンター）は、令和4年4月より、日本看護協会より委託を受け、不足する新型コロナウイルス感染症対応看護職員の確保と、医療提供体制を維持するための支援を目的とした、新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業を受託し、下記の3つを実施しています。

- ＊新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業
- ＊新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談事業
- ＊広域人材調整事業

※詳細につきましては鳥取県ナースセンターホームページおよび、ポスター・チラシをご覧ください。



～令和4年度 高齢者介護施設看護職確保事業～

令和2年度より日本看護協会中央ナースセンターの補助事業「地域に必要な看護職確保推進事業」に取り組み、**「病院等と連携した高齢者介護施設新人看護師教育プログラム」**を作成し、福祉施設等への新人看護師の採用促進と就業定着のための支援をおこなっております。是非、ご活用ください。

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業

新型コロナウイルス感染症に関する看護職の離職防止相談窓口を開設しました

新型コロナウイルス感染症の対応での仕事の悩みなどを気軽に相談できる窓口を開設しました。専門の相談員が対応します。秘密は厳守されます。不安や悩み、心身の不調など、お気軽にご相談ください。

＊相談は無料です。

電話相談

TEL:0857-25-1222

- ◆受付時間 月・水・金 9時00分～16時00分
- ◆開設期間 令和4年7月1日～令和5年3月31日
- ◆相談対応者 専門の相談員（看護師）

メール相談

下記、メールアドレスより①ご相談ください。
itudemodosan@tottori-kangokyokai.or.jp

- ◆受付時間 毎日24時間
- ◆開設期間 令和4年7月1日～令和5年3月31日
- ◆ご相談いただいた日から3日ほどお時間をいただき、本会からお返事させていただきます。

【問合せ先】 〒680-0901 鳥取市江津318-1
公益社団法人 鳥取県看護協会
鳥取県ナースセンター TEL:0857-25-1222
FAX:0857-25-1223

看護師・看護史家として

●四井 幸子

皆様こんにちは。岩美病院を退職した後、自宅近くの小規模デイサービスセンター（10人）で、週2回ほどパートナーズをしています。孫出生時は多く休みをもらい、74歳の今も楽しく働いています。

利用者さんは朝体温・血圧測定の後、介助により順次入浴されるので、ナースとしては話題提供、楽しい体操指導と、私の特徴である一冊ずつの紙芝居と絵本読みをすることです（働いてばかりいた高齢者に心の栄養剤です）。入浴が済んで、二人の介護士さんがホールに帰ってくると交代して、季節に合ったレクの時間となるのです。必要時浴室で軽い褥瘡の手当をしたり、健康不安などの相談にのったりします。私の後任を探していますのでいつでも声をかけてください。

パートのない日も暇ではありません。「碧川かたの生涯」を朝の連続テレビドラマになるよう研究会で活動をしています。皆様応援してくださいね。「今日用がある」「今日行くとところがある」というように自分の介護予防をして、元気にしております。



四井幸子さんは、元看護師で看護史家の佐々木美幸さんに共感し、鳥取市出身で日本初の農村保健婦・吉田喜久代さん（1914～90年）を研究する吉田喜久代研究会のメンバーとして、吉田喜久代さんの足跡をまとめた「使命 吉田喜久代—日本で最初の農村保健婦—」（佐々木美幸氏の自費出版）の出版をサポート。全国の研究者に注目されたとして、日本海新聞ふるさと大賞2021地域貢献賞を受賞されました。（事務局）



（吉田喜久代研究会のみなさん）

お知らせ

土曜日相談会 要予約

採血練習も可能ですので、お電話にてご予約下さい。

場所 ▶ 鳥取県看護研修センター 1 階（鳥取県ナースセンター）

時間 ▶ 13:00～16:00

10/15	11/19	12/10	R5 1/28	R5 2/18	R5 3/18
-------	-------	-------	---------	---------	---------



移動就業相談会

鳥取県内東部・中部・西部のハローワークの会場で毎月相談会を開催しています。詳しい日程は鳥取県ナースセンターHPをご覧ください。どうか、ナースセンターまでお問い合わせください。

開催地区	会 場
鳥 取	ハローワーク鳥取 鳥取市富安2-89
倉 吉	ハローワーク倉吉 倉吉市駄経寺町2-15（倉吉地方合同庁舎）※要予約
米 子	ハローワーク米子 米子市末広町311（イオン米子駅前店4F）

●看護師等の離職時の届出制度（とどけるん）

2015年10月1日から「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正により看護師等（保健師・助産師・看護師・准看護師）のお仕事をされていない方、看護職員が病院等を離職した際などに「都道府県ナースセンター」への届出（努力義務）が必要となっています。



届出状況に変更があった場合は、変更手続きをお願いします。



看護師等の届出サイト

とどけるん

施設の方へ

看護職の方が退職される際には、届出制度のご案内を引き続きお願いします。

厚生労働大臣許可看護師等無料職業紹介所

公益社団法人 鳥取県看護協会 鳥取県ナースセンター

〒680-0901 鳥取市江津318-1 ☎0800-222-1232



施設紹介

～コロナ後をみすえて
飛躍する看護～

岩美町国民健康保険 岩美病院

～地域に根ざした病院の役割～

岩美病院は、人口約11,000人のうち4割を高齢者が占める町の中心部にある病院です。高齢者は新型コロナウイルスに感染すると重症化のリスクがあるといわれ、有症状の方の外来受診時の動線や受診時間に気を配るなど感染予防策を徹底してきました。

町民の感染予防・重症化予防のため新型コロナワクチン接種に、早期に取り組み始め、更には1市6町による“きりんのまち圏域”の住民を対象とするコロナワクチン接種も積極的にいき、6月17日までに延べで約18,900回分のコロナワクチン接種を行ってきました。

令和3年度新型コロナウイルス陽性者の受け入れ対応をした若い看護師たちが多く退職しました。今看護部は戦力ダウンしていますが、在籍の看護職が部署を超え協力しながら働き支えあっています。

新型コロナウイルス感染症はまだ終息の兆しは見えませんが、コロナ前以上に看護部のパワーアップのため来年度の看護師採用を多く予定しています。また、在籍看護職についてもキャリアアップのため研修会や学会へ積極的に参加するよう促しています。今以上に、岩美町民が安心して受診し、入院生活がおくれる病院看護部を目指していきます。



施設の外観



新入、電子カルテ研修



新型コロナワクチン接種・受付



診療表示システム導入

Keep Shining 輝き続ける プラチナナース

個人会員 畑村 文子

令和3年3月に鳥取県立中央病院を定年退職しました。時は新型コロナウイルスの対応に世界中が苦慮し、自分自身の行動も慎重に、家族や知人との接し方も模索する社会でした。

孫の子守と、好きなガーデニングをして過ごそうと思っていましたが、縁あって看護協会に動かさせていただくことになりました。仕事は「新型コロナウイルス感染症 電話受診相談、ワクチン相談業務」です。新型コロナに関する情報が変化している状況で相談業務が勤まるのか不安でしたが、二人体制なので相談できる環境で働くことができています。また、勤務されている方は保健師、助産師、看護教員、看護師等の退職者の方で、経験豊富で、知識もあり、現在もなにかしら地域に貢献しておられ、知らないことを教えていただく有意義な時間となっています。相談内容には様々な意見がありますが丁寧な対応を心掛け、相手の方に安心していただけるよう努め、少しでもお役に立つことができたいと思っています。





がんばる！ 育ナース



社会医療法人同愛会 博愛病院
看護師 永海 明音

新卒で博愛病院に入職し、13年になります。

息子を出産するまでは夜勤もしながら急性期病棟で働いていましたが、自分が母になってからは外来で勤務しています。夜勤なし、カレンダー通りの休みで、子供との時間を多くとれ、うれしく思っています。

育休が明けてすぐは時短制度を利用し、仕事と家事育児の両立に慣れない中、時間や気持ちに少し余裕を持って過ごすことができました。

子供が病気がちな1～2歳のころは、職場の病児保育にとっても助けられました。また、主人の仕事柄ワンオペも多い中なんとかやっていけているのは、理解のある上司や同僚のおかげでもあるので、恵まれた環境で働けることに感謝しています。

子供がもうすぐ3歳になるので、現在はフルタイムで働くようになりました。育児もひと段落ついてきたので、今後は仕事に活かせる資格を取ったり、研修に参加したり、自分のスキルアップにも目を向けていきたいと考えています。

ちょっと一息

推しメン



鳥取赤十字病院

看護師 秋田 拓之

「世界中で苦しんでいる人々を1人でも多く助けたい」という思いで、私は7年前に当院に入職しました。赤十字の使命の一つに「国際救援活動」があり、私も国際医療救援要員にいち早く登録できるよう、入職以降病棟や研修で経験を積みました。2020年から2年間に渡って、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の国際医療救援部に所属し、臨床経験を積みながら国際派遣に必要な知識を学びました。現在は救急外来に配属となり、名古屋で学んだことを活かしつつ、患者さんに最適で最良な看護が提供できるよう努めています。特に患者さんの声に耳を傾け、常に声掛けをするよう意識しています。日本での経験がいつか、海外で活かせる日が来ると信じて日々活動を続けています。

現在世界では紛争、難民問題、気候変動、災害など様々な要因で人道危機が起こっています。私たちの支援を待つ人々の元へ少しでも早く駆け付けられるよう、今後も学び続けていきます。

専門看護師・認定看護師 は こんな 活動 しています

認知症看護認定看護師



鳥取県済生会境港総合病院

認知症看護認定看護師 田中 るみ子

認定看護師となり3年が経とうとしています。認知症ケアチームの一員として、病棟巡回やカンファレンスを行うことが主な活動になります。点滴を抜去する、家に帰ろうとするなど対応が難しい事例も多く、認知症の状態を評価し、より良い治療やケアが受けられるように病棟スタッフに助言を行っています。

認知症ケアで大切にしていることは、その人の本質的な部分やストレングスを捉えて支援することです。「したいこと」はないか1人ひとりの声を聴き、私にできることを考えケアを実践しています。経鼻経管栄養を行っていた人が、「口から食べたい」と訴えた時は、チーム一丸となって介入しました。その後、経口摂取ができるようになり、共に喜び合いました。

当院は境港市の中核病院であり、地域の人が多く入院されています。今後は地域で安心して暮らせるように、認知症の人やご家族の方の相談にも対応できる体制づくりに取り組んで行きたいと考えています。

日本看護協会名誉会員に、山本 しずゑ 様が承認されました

協会歴

- 鳥取県看護協会 ●看護師職能委員
- 訪問看護検討特別委員会委員（平成3年から訪問看護委員）
- 訪問看護ステーション運営特別委員会委員
- ALS在宅支援特別委員会委員 ●在宅ケア推進特別委員会委員

表彰

- 日本赤十字社社長表彰
- 保健婦助産婦看護婦法制定50周年記念知事表彰
- 厚生労働大臣表彰

表彰

令和4年度
日本看護協会
表彰

主催者／日本看護協会

内田 眞澄

【受賞内容】県協会長として新たな事業の立上げや財政健全化の取組みを推進、また協会の組織化を図り、協会の発展に貢献した。

令和4年度
鳥取県看護協会
表彰

3名

鈴木 康江（鳥取大学医学部保健学科）

中村真由美（鳥取大学医学部附属病院）

徳野 妙子（垣田病院）

（所属は令和4年3月31日現在）

【功 績】永きにわたり協会委員会の委員等として協会の運営・事業推進に貢献した。

令和4年度 鳥取県看護協会名誉会員に2名の方が承認されました

【功 績】令和4年度鳥取県看護協会通常総会（要綱）をご覧ください。

木下 叔子

協会歴

- 教育委員 ●東部地区理事 ●訪問看護委員
- 看護研究学会委員 ●新公益法人制度検討特別委員会委員

表彰

- 結核予防事業功労者保健事業団理事長感謝状
- 保健師助産師看護師法制定60周年記念鳥取県看護協会会長表彰

露木 節子

協会歴

- 保健師職能理事 ●保健師助産師看護師法制定40周年記念事業特別委員会委員長
- 訪問看護検討特別委員会委員長 ●会館建設推進特別委員会寄付金指導委員 ●訪問看護委員
- 訪問看護ステーション特別検討委員会 ●東部地区理事 ●訪問看護委員 ●東部地区理事 副会長
- 認定看護管理者ファーストレベル研修委員 ●第36回日本看護協会（老年看護）準備委員会委員長 副会長
- 第40回日本看護協会（成人看護Ⅱ）準備委員 ●看護職確保特別委員 会長

表彰

- がん予防功労表彰（鳥取県保健事業団） ●結核予防功労表彰（鳥取県知事）
- 母子保健功労表彰（鳥取県知事） ●母子保健及び家族計画功労表彰（厚生労働大臣）日本看護協会会長表彰

鳥取県看護協会会長感謝状 27名

新型コロナウイルス感染症の発生当初から、研修会講師、予防的現地指導、クラスター発生施設への指導や宿泊療養施設開設準備へのご協力や本会の新型コロナ対応へのご助言等多大なるご協力をいただきました。

【認定看護管理者】

氏 名（施設名）			
松岡 真弓	鳥取県立中央病院	出石 幸子	鳥取看護大学
小山 和子	鳥取赤十字病院	渡邊 仁美	鳥取大学医学部附属病院
廣岩 厚美	鳥取赤十字病院	藤井 春美	錦海リハビリテーション病院
田中 菊枝	鳥取赤十字病院	森石 好江	山陰労災病院
間庭 弘美	鳥取市立病院	我有かずよ	山陰労災病院
山根 美子	個人	東森 昌江	鳥取県看護協会

【感染管理認定看護師等】

氏 名（施設名）			
枅本 浩紀	鳥取県立中央病院	米田 桂子	養和病院
黒阪佐美代	尾崎病院	目次 香	山陰労災病院
中谷 知子	鳥取市立病院	鹿原 佳子	山陰労災病院
西山 知子	鳥取市立病院	荻 幹	米子医療センター
森原賀都子	鳥取医療センター	中村 広大	鳥取大学医学部附属病院
松山 初江	鳥取市協病院	上灘 紳子	鳥取大学医学部附属病院
大畑 悦子	鳥取社会福祉専門学校	田原由紀子	博愛病院
福井 昭裕	鳥取県立厚生病院		

（所属は令和4年3月31日現在）

令和4年度鳥取県看護協会役員 選挙開票結果

令和4年6月19日

役職名	当落	氏名	得票数 (書面表決)	得票数 (総会投票)	得票総数
副会長理事	当	上田 尚子	3,340	36	3,376
専務理事	当	植木 芳美	3,342	36	3,378
常任理事	当	長谷川ゆかり	3,342	36	3,378
助産師職能理事	当	大谷多賀子	3,340	36	3,376
看護師職能Ⅰ理事	当	森田 理恵	3,342	36	3,378
看護師職能Ⅱ理事	当	高須 美香	3,339	36	3,375
東部地区理事	当	横山加奈子	3,332	36	3,368
中部地区理事	当	穂山八重子	3,341	36	3,377
西部地区理事	当	寺地 栄子	3,339	36	3,375
西部地区理事 (残任期間)	当	岡本 文枝	3,333	36	3,369
監事	当	間庭 弘美	3,340	36	3,376

令和5年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員 選挙開票結果

令和4年6月19日

役職名	当落	氏名	得票数 (書面表決)	得票数 (総会投票)	得票総数
代議員	当	平戸 由美	3,345	36	3,381
代議員	当	大谷多賀子	3,347	36	3,383
代議員	当	森田 理恵	3,348	36	3,384
代議員	当	高須 美香	3,336	36	3,372
代議員	当	山本 健一	3,344	36	3,380
予備代議員	当	永美 知沙	3,338	36	3,374
予備代議員	当	山村 裕子	3,337	36	3,373
予備代議員	当	幸田 尚子	3,340	36	3,376
予備代議員	当	松浦 英美	3,333	36	3,369
予備代議員	当	津村 朱美	3,339	36	3,375
予備代議員	当	曾我 円	3,334	36	3,370
予備代議員	当	杉村 依里	3,338	36	3,374
予備代議員	当	和田 郁美	3,333	36	3,369

投票総数 3,437 票

理事会報告

第1回 令和4年4月21日(木) 10:00 ~ 12:30

場所 鳥取県看護研修センター・鳥取県看護協会米子事務所(ZOOM)

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
今回はなし
- 協議2. 事業推進に関する事項
2-1 令和4年度通常総会の参加方法について
2-2 令和3年度決算報告について
2-3 令和4年度通常総会への提出議案について
議案1 鳥取県看護協会名誉会員の推薦(案)について
議案2 令和3年度収支決算及び監査報告の承認について
議案3 令和4年度鳥取県看護協会役員の選出並びに令和5年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員の選出について
2-4 特別委員会の廃止について
2-5 委員会委員の承認について
2-6 令和4年度委員会委員の承認について
- 協議3. 管理的事項
今回はなし
- 協議4. 人事関係
4-1 組織図・業務分掌表
4-2 令和4年度公益社団法人鳥取県看護協会役員業務分担(案)について
- 協議5. その他
今回はなし

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
1-1 令和4年度重点政策・重点事業並びに事業計画について
- 報告2. 事業推進に関する事項
2-1 日本看護協会理事会報告・法人会報告
今回はなし
2-2 事業報告
1) 常務理事会報告
2) 業務執行理事報告
3) 各委員会報告
4) 令和3年度重点政策・重点事業の実施状況と評価について
5) 各事業報告
(1) 令和3年度ナースングデイこすもす事業報告について
(2) 病院等と連携した高齢者介護施設新人看護師教育プログラムについて
(3) 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応事業について
(4) 看護フェア2022の開催について

報告3. 管理的事項

- 3-1 令和3年度会員数最終報告について
3-2 令和3年度後期(10月から3月)長期療養者報告について

報告4. 人事関係

- 4-1 看護協会内人事異動について

報告5. その他

- 今回はなし

報告6. 書面報告

- 令和3年度第7回理事会議事録
令和3年度第8回理事会議事録

その他 定期総会当日スケジュールについて

第2回 令和4年6月19日(日) 12:10~12:20

場所 鳥取県看護研修センター

【協議事項】

- 第1号議案 副会長の選定(案)について
第2号議案 専務理事の選定(案)について
第3号議案 常任理事の選定(案)について
第4号議案 令和4年度理事の委員会・事業担当(案)について

第3回 令和4年6月19日(日) 13:30~15:30

場所 鳥取県看護研修センター

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
今回はなし
- 協議2. 事業推進に関する事項
2-1 理事の業務分担(案)について
2-2 常任委員会の委員の交代(案)について
- 協議3. 管理的事項
3-1 会長代行及び副会長代行の優先順位(案)について
3-2 鳥取県看護協会組織の改正について
3-3 役員報酬・管理職手当・役職手当の改正について
3-4 旅費規程の改正について
3-5 非常勤職員等の特別休暇(夏季休暇)の取得について
3-6 研修の受講証明書等の発行に関することについて
- 協議4. 人事関係
今回はなし
- 協議5. その他
5-1 会員の福利厚生について

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
今回はなし

報告2. 事業推進に関する事項

- 2-1 日本看護協会理事会報告・法人会報告
日本看護協会通常総会報告・全国職能別交流集会報告
- 2-2 事業報告
1) 常務理事会報告
2) 業務執行理事報告
3) 各委員会報告
4) 令和4年度重点政策・重点事業の実施状況と評価について
5) 各事業報告
(1) 鳥取県医療的ケア児支援センター東部窓口の設置について
(2) 入会促進計画について
(3) 看護フェアについて
(4) 高齢者福祉施設看護職確保推進事業について
(5) 新型コロナウイルス感染症対応事業について
(6) 合同委員会について
(7) 認定看護管理者セカンドレベル教育課程修了者の活動に関する調査結果について
- 2-3 会議報告
1) 2022年度都道府県看護労働担当者会議
2) 2022年度都道府県ナースセンター事業担当者会議
3) 認定看護管理者教育機関担当者会議
4) 2022年度都道府県看護連盟・看護協会会長合同会議
5) 令和4年度第2回鳥取県看護協会・看護連盟連絡会
6) 鳥取県看護協会・看護連盟との意見交換
- 2-4 その他
1) 中部四志会運営協議会について
2) 令和4年度行事予定(日本看護協会・鳥取県看護協会)
- 報告3. 管理的事項
3-1 研修会館修繕について
- 報告4. 人事関係
4-1 職員の採用・退職について
- 報告5. その他
5-1 絵画の寄贈について
5-2 賛助会員の状況について
5-3 第53回日本看護学会学術集会の一般演題座長の推薦について
- 報告6. 書面報告
6-1 令和4年度第1回理事会議事録
- その他

第16回

鳥取県看護研究学会～経験から未来につなぐ知と心～

日時

2022年11月12日(土)
10:00～16:00

内容

9:00～ 開場・受付開始
10:00～ 看護研究発表
14:00～ 特別講演

場所

鳥取県看護研修センター

開催方法

ハイブリッド

COVID-19感染下における看護職、看護学生の心の葛藤

特別講演

講師：福崎 俊貴 先生

鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学講座 講師

参加費

看護協会会員 3,000円／非会員 5,000円
看護学生 1,000円

申し込み方法

来場・Zoomを問わず、参加される方は事前申し込みが必要です。申し込みに来場希望かZoom希望かをご記入ください。来場希望は先着60名限定とさせていただきます。

申込期間

2022年8月16日(火)～9月12日(月)



✦ 絵画を寄贈いただきました ✦

5月18日、元鳥取市立病院看護部長の田村蓉子様より、題名「初秋の仁風閣」油絵を寄贈して頂きました。同日、寄贈式が行われ協会役員や職員が参加し、絵画のお披露目を祝いました。

田村さんは退職後、心身の健康を取り戻すため、絵画教室で油絵を始められました。以降15年間にわたりグループで国内の写生旅行をしたり、海外旅行での印象に残った風景を描いてこられました。

「この作品は何度描いても飽きないフレンチルネッサンス様式の西洋建築ですが、7年ほど前に個展をした時の思い出の作品です。私も微力ながら関わりのあった看護協会に飾っていただけることを大変光栄に感じています。」とご挨拶されました。

絵画は鳥取県看護協会2階への階段壁に展示しています。協会に訪問された際はぜひ御覧ください。



前列右側 田村蓉子様を囲んで記念撮影

新刊図書



医療安全実践ガイド

著 東京海上日動メディカルサービス株式会社
メディカルリスクマネジメント室
日本看護協会出版会 発行



ポストコロナ時代の「通いの場」

編集者 近藤 克則
日本看護協会出版会 発行

編集後記



「今号もこすもすをお読みいただきありがとうございます。今年も暑さの厳しい日が続いていますね。年々体調管理という言葉の大切さを感じているこの頃ですが、みなさまもどうぞお体にご自愛ください。そんな日々活躍されているみなさまの記事の掲載へのご協力は大変感謝しております。さまざまな分野で頑張られているみなさまの姿を拝見し、私も活力をもらっています。看護協会ホームページでもこすもす最新号をご覧いただけます。家庭での話題の一つにしていただけたら幸いです。(広報委員 河本)